

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

長野県 下諏訪町

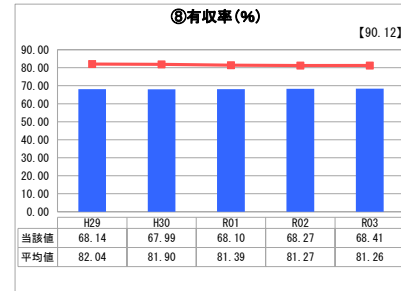
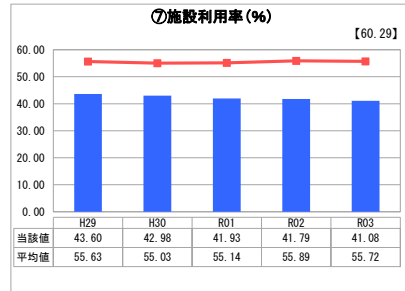
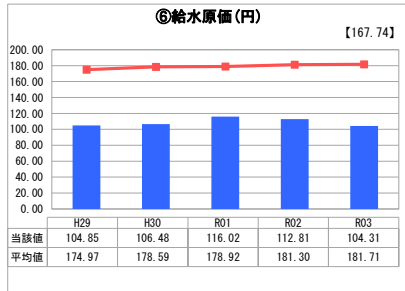
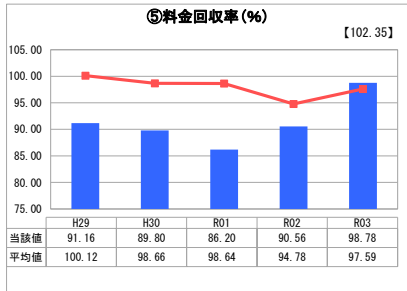
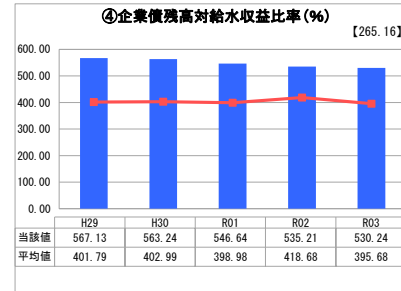
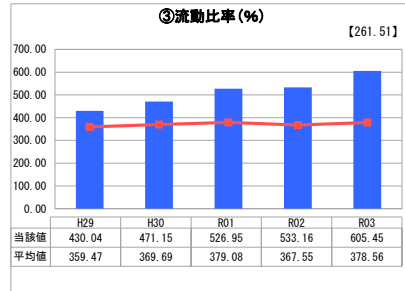
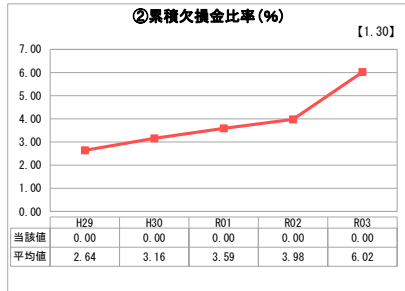
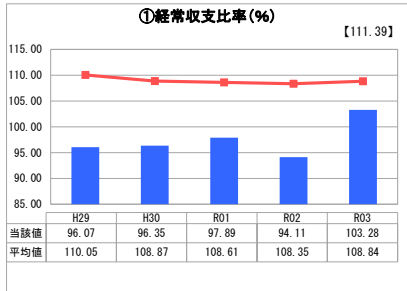
| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A6                             | 非設置    |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円) |        |
| -         | 62.24       | 99.96  | 1,763                          |        |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 19,332    | 66.87                    | 289.10                     |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 19,234    | 6.36                     | 3,024.21                   |

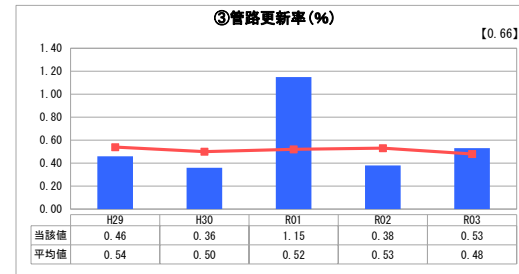
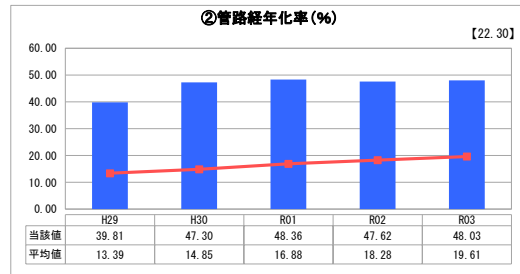
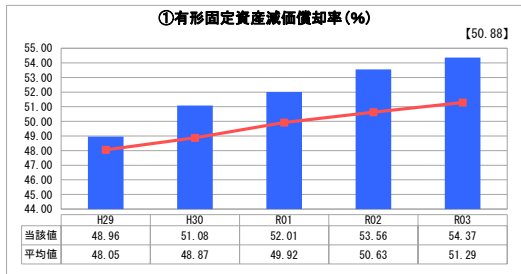
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

赤字決算が継続していたことから、人件費の一部を資本的収支からの支出へ変更したことにより経常収支比率が100%を上回ったが、資本的収支への人件費の計上は将来負担となることから、今後見直しが必要状況である。

料金回収率については、料金改定による収益増や経費削減により増加傾向にあるが、100%を下回っている状況が続いていることから、更なる料金収入の確保を図っていく必要がある。

施設利用率については年々減少傾向にあり、現在の水需要に対して過大な施設規模となっているため、施設を更新する際には適切な施設規模について検討していく必要がある。

有収率については、全国平均や類似団体平均を大幅に下回っており、近年は改善もされていない状況が続いていることから、漏水調査の実施等により原因を究明し改善を図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年化率ともに類似団体の平均や全国平均を上回っており、施設・管路の老朽化が進んでいる状況である。

老朽化が進行している管路を優先的に布設替を行っており、管路更新率については類似団体の平均と同程度である。管路経年化率の大幅な改善のためには更なる財源が必要となるが、現在の経営状況では更新財源の増額が難しい状況である。

### 全体総括

令和3年度は単年度収支が黒字となったものの、人件費の一部を資本的収支への計上としたことで更新費用を抑制せざるを得ない状況となった。そのため、引き続き経営改善や更新財源の確保が課題となっていることから、適切な料金収入を確保するために令和6年度の料金改定を目指して今後本格的な検討を行っていく予定である。

また、施設の老朽化が進行していることから、今後、適切な施設規模の検討やアセットマネジメントによる更新需要の平準化、重要給水施設等の選定による優先順位付け等を踏まえた施設更新計画の策定を行い、計画的な施設・管路の更新を進めていく。